

【登園許可証（医師記入）の必要な感染症】

感染症名	初期症状	登園の目安
麻疹（はしか）	発熱とともに咳、くしゃみ、鼻汁、目やに、結膜の充血がある。熱が再び上昇してくると発疹がではじめる。頬内側の粘膜に白い斑点（コプリック斑）が見られる。	解熱後3日を経過してから
風疹	発熱と共に発疹が出て、3-4日で消える。耳・首の後ろのリンパ節が腫れる。	発疹が消失してから
水痘（水ぼうそう）	発熱と共に発疹が水疱となり全身に広がる。頭にも出てくるのが特徴。	すべての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発熱・食欲不振・耳下線の腫れ、痛みがある。	耳下腺・舌下腺・顎下腺の腫脹が発現後5日経過し、かつ全身状態が良好になるまで
百日咳	熱はほとんどなく、夜間に咳をするのが特徴。咳は出始めると連続して出る。10-20回コンコンして最後にヒューッと息を吸う。乳児では無呼吸になることもある。	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗生物質による治療が終了するまで
インフルエンザ	悪寒・高熱・頭痛・筋肉痛・関節痛・全身倦怠感などの全身症状を伴う。咳・喉の痛み、目の充血を伴うこともある。	発症した後5日間経過し、かつ解熱後3日経過してから
咽頭結膜熱（プール熱）	急に高熱が出る。咽頭炎・目の充血がひどい。	発熱、充血等の主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎（はやり目）	涙目・目の充血・目やにが多い。（膿のような目やに）	結膜炎の症状が消失してから
腸管出血性大腸菌感染症（O-111・O-26・O157）	初期症状は腹痛や水溶性の下痢で症状が出てから1-2日あたりから便に鮮血が混入し、典型的な症状として、固形物のない血性下痢を認める。下痢は4-5日持続。吐き気・嘔吐・発熱を伴う場合もあります。下痢がひどい時には入院が必要になることもある。	医師において感染の恐れがないと認められ、2回以上連続で便から菌が検出されなくなり、全身状態が良好になるまで
結核	数週間続く咳・痰(たん)(血痰が出ることもある)・発熱の3症状。症状が出てから、さらに時間が経過すると疲れやすくなったり、体重減少なども認めるようになる。	医師により感染の恐れがないと認められるまで
急性出血性結膜炎	急性結膜炎で結膜出血が特徴	医師により感染の恐れがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	髄膜炎症状(頭痛・発熱・痙攣・意識障害・髄膜刺激症状・大泉門膨隆など)を示す。点状出血がみられることもある。	医師により感染の恐れがないと認められるまで
細菌性胃腸炎（サルモネラ・カンピロバクター等）	原因菌により潜伏期間はまちまち。腹痛・下痢・嘔吐・発熱に加え血便を伴う下痢を認めることもある。	症状がないか、下痢などの症状がおさまり全身状態が安定してから